

(令和3年8月試験研究業務月報)

試験研究課題名：強樹勢台木の接ぎ木による賀茂ナス果実の高品質・高付加価値化技術の確立

研究

賀茂ナスのミスト散水試験を開始

賀茂ナスは近年、夏期の高温によるツヤなし果の発生が問題となっています。当センターでは、その対策の一つとしてミスト散水の効果を検討しています。これは散水ノズルを用いて発生させた細かい霧（ミスト）をナスの株の上部から断続的に散布するもので、果実表面の温度を下げるのが期待できます。

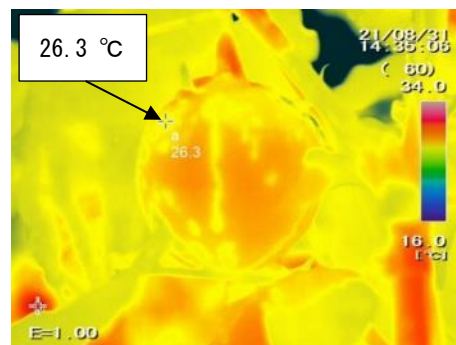
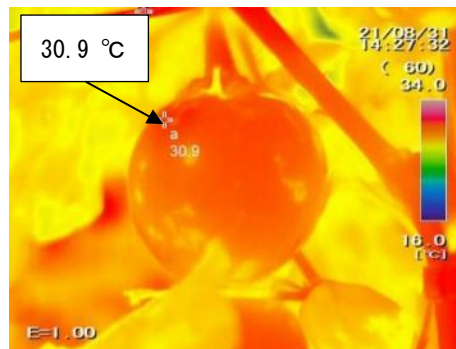
7月中旬に試験を開始し、8月下旬の晴天日にサーモグラフィーカメラ*1で散水前後の果実を撮影したところ、散水直後の果実は散水前と比べて表面温度が4℃程度低下していることが確認できました。

今後は9月上旬までミスト散水を行い、散水の有無によるツヤの程度の違いを調査する予定です。

※1 サーモグラフィーカメラ：物体の温度を視覚的に見ることができるカメラ



ミスト散水の様子



ミスト散水前（上）と散水後（下）の果実の温度分布